

令和2年度の文化芸術関連事業の状況

新型コロナウイルス感染症の影響

- 新型コロナウイルス感染拡大により、文化芸術活動は多大な影響を受けている。
- 東京2020オリンピック・パラリンピックを始め、県内では「阿波おどり」等、イベントの多くが中止・延期を余儀なくされている。
- 一度は収束傾向にあったものの、全国各地で再度、感染の拡大傾向が見られる中、県のアラートも「漸増ステージ」となり、改めて3密回避など感染防止対策の徹底が必要となっている。
- そのような中、県においても「withコロナ時代」を見据え、「スマートライフ宣言」に基づき、感染症対策と社会経済活動の引き上げの両立に取り組んでいる。

「withコロナ」の取組

- 大規模イベント等の開催が難しくなる中、「新たな発想」のもと「今できる施策」を実施

- ①オンラインによる「県外のプロ演奏家」から「県内アマチュア演奏家」への技術指導
- ②「阿波人形浄瑠璃」や「阿波おどり」など、「あわ文化」をテーマにしたVR動画等のデジタルコンテンツの制作



タブレットを活用した「オンライン指導」

今後の方向性

- 関係機関や各種団体と連携・協力し、新しい文化芸術活動のあり方を一緒に考えて、一致団結して今後の事業実施に結びつけていく。
- 「withコロナ時代」を迎え、感染症対策と社会経済活動の両立を見据えた上で、文化の灯を消さないよう、「あわ文化」の継承・発展を目指していく。